

ぼうさい みくまじろ



No.1 3

H28. 12. 2発行

みくまの支援学校
育友会 防災研修部

第27回 みくまの文化祭 育友会が防災関係資料の展示

11月27日(日)、昨年に引き続き、育友会防災研修部が中心になって、防災関係の資料等を展示しました。また、今回は、「みくまじろ缶バッジ」の製作コーナーも設け、学校防災キャラクターのPRも行いました。



缶バッジの製作コーナー



防災研修部員による運営

防災講演会を開催

■期日 平成29年1月19日(木) 午前

■講師 愛知県立大学
教授 清水宣明 氏

※詳細は後日連絡します。



防災 地域学習列車に試乗



11月12日(土)、本校職員が、モニターツアー列車に試乗し、津波防災や地域の歴史を学ぶことができました。これは、鉄道からの津波避難の協力者の拡大や鉄道からの避難方法を学ぶプログラムの開発を目指す取組です。今回のツアーでは、鉄道会社初の緊急用降車台を見学したほか、避難はしごの使い方を学習しました。

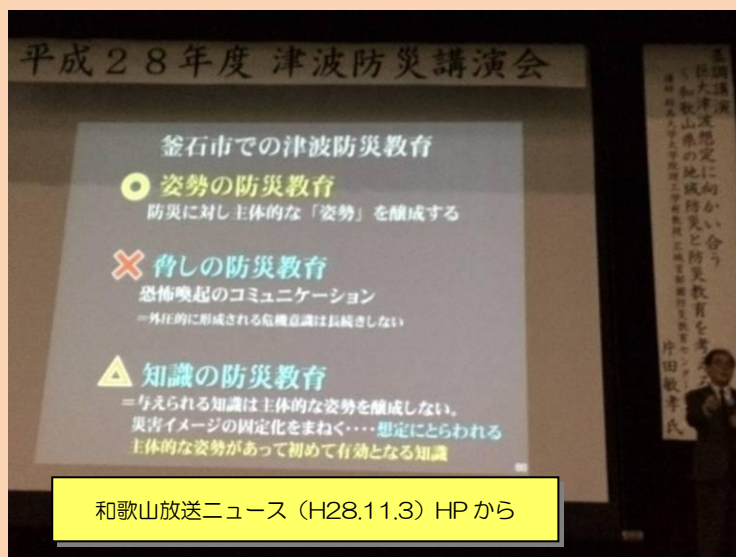


列車の中から避難用のはしごを取り出しています。

津波防災講演会に参加



11月3日（木・祝）、美浜町にある松洋中学校を会場に群馬大学大学院 片田敏孝教授を講師に招き、「平成28年度 津波防災講演会」が行われました。本校からも教職員が出席しました。片田教授は、自分たちの郷土に誇りをもつこと。自分の命を守り、そして生き延びるために津波から避難すること。そして日頃からの防災教育や訓練を行うことの大切さについて、今までの片田教授自身の経験を交えて分かりやすく、そして熱く語ってくれました。



和歌山放送ニュース（H28.11.3）HP から

片田教授が提唱する 津波避難 3原則

- ①想定にとらわれるな
ハザードマップ等の数値に左右されるな
- ②最善をつくせ
そのときできる最善をつくすこと
- ③率先避難者たれ
誰かが逃げ出すとみんなが逃げる

ご案内 第5回 防災研修部会

○日時 12月13日（火）13：00～
○場所 みくまの支援学校 応接室

お気軽にお越しください！



みくまの方丈記 ⑪ ～てんでんこ 未来へ～



榎本校長先生による特別
寄稿です。



本校で講演をお願いしていた清水宣明先生が、本日（11/25）本校を事前訪問してくださった。氏は医学博士で国立がんセンターでウイルスの研究もされていた。エイズウイルスの専門家でもある。09年の新型インフルエンザ流行の時、伊勢地域の小学校を中心に感染制御研究をしたのをきっかけに津波避難の研究にも興味を持ち現在に至ったという経歴の持ち主である。

“子を胸に 抱きしめ死にし この母は 髪振り乱し 砂にくるまる” この短歌は『てんでんこ未来へ～あの日を忘れない～（岩手日報社）』（本校防災ライブラリー蔵）の中に出てくる。大津波からわが子を守ろうとし、共に命を落としてしまった母親の子を思う気持ちと自然の厳しさが切々と伝わってくる。この本には氏の「④避難学のススメ」も掲載されている。実際に先生にお会いし避難に関する具体的なお話を伺っていると、地震・津波防災に対する今までの認識が新たになった。特に災害弱者の視点に立った考察が大変参考になる。2017年1月19日に本校で先生に講演していただくことが正式に決定した。